

令和5年度
事業報告書

社会福祉法人 若狭福社会
若狭ハイツ・若狭東ハイツ

□法人運営

理事会	5回開催	6月7日(水)、6月22日(木)、12月21日(木)
		1月9日(書面決議)、3月12日(火)
評議員会	2回開催	6月22日(木)、3月27日(水)
監査会	1回開催	5月25日(木) 令和4年度決算監査を実施
評議員選任・解任委員会	開催なし	

※詳細は別紙の通り

- 令和5年度理事会開催状況
- 令和5年度評議員会開催状況

□施設運営

○地域福祉の拠点化

- ▶社会福祉法人が運営する施設は、高い公共性が求められており、施設が持っている機能や介護等の情報を提供するように努力した。
- ▶東ハイツにおいては、「地域密着型介護老人福祉施設運営推進会議」を年5回開催し、利用者家族の代表、地域住民の代表、小浜市関係部署の代表と、利用状況等について意見交換を行った。

○地域との交流

- ▶コロナ禍の影響が少し落ち着いてきたので、地域の小学校や各種団体との交流を図った。
- ▶地域ボランティアと米原市のサロンボランティアとの交流会を実施した。
- ▶オンライン面会、パネル越し面会、ガラス越し面会を実施した。

() 前年度実績

	若狭ハイツ	若狭東ハイツ
面会者	372人 (266人)	156人 (84人)
ボランティア	33人 (0人)	0人 (0人)
その他(実習・見学他)	63人 (76人)	14人 (1人)

○組織体制(在籍人員) 『令和6年4月1日現在』

- ▶職員数 若狭ハイツ58名、若狭東ハイツ21名、合計79名(委託先の職員は除く)

○職員年齢構成 『令和6年4月1日現在』 () 前年度実績

法人全体	52.7歳	(52.7歳)
若狭ハイツ	52.5歳	(53.2歳)
若狭東ハイツ	53.4歳	(51.3歳)

○人の動き 『令和5年4月～令和6年3月』

() 前年度実績

人事異動	5名	(2名)
退職	8名	(7名)
採用	10名	(4名)

○福祉・介護の仕事のイメージアップと人材の確保

- ▶若い介護人材の確保 … コロナ対策でオンライン登録
- ▶若狭ハイツホームページに求人情報を掲載
- ▶小浜市視覚障がい者福祉協議会(13名参加)研修に講師2名を派遣

○人材育成および専門性の向上

- ▶職員会議（内部研修会）、外部研修会への参加等を通じ、介護技術・介護サービスの質の向上を図った。
- ▶令和5年度は、たんの吸引研修を2名が終了し資格を取得した。

◆関連資格取得状況 『令和6年4月1日現在』

- ・社会福祉士（1名）
- ・管理栄養士（1名）
- ・看護師（7名）
- ・主任介護支援専門員（1名）
- ・介護福祉士（37名）
- ・ユニット施設管理者（1名）
- ・防火管理者（5名）
- ・社会福祉主事（8名）
- ・栄養士（1名）
- ・准看護師（5名）
- ・介護支援専門員（12名）
- ・ヘルパー2級（16名）
- ・ユニットリーダー（4名）
- ・衛生管理者（2名）

○施設、設備の保守管理

- ▶東ハイツの老朽化した設備の改修工事を実施した。
- ▶建屋・設備の老朽化等に伴う不具合箇所の抽出・把握を行うとともに、各部門の要望等も踏まえ、中長期に亘る設備・器具・什器・備品の整備計画をまとめる。

○環境管理活動の推進

- ▶5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）活動を推進
- ▶クリーン作戦の実施

○安全衛生管理活動の推進

- ▶職員の健康管理への取り組み（腰痛対策・メンタルヘルス）
- ▶ストレスチェックを実施
- ▶快適な職場づくりの推進

○危機管理体制の整備

- ▶介護保険制度下での、利用者・家族の権利意識の高まりに基づき、安全確保が求められる中、リスクマネジメントをはじめとする自主的な危機管理体制の見直し・整備に取り組んだ。
- ▶災害発生に備えて、春・秋の2回、若狭ハイツ・東ハイツそれぞれ消防署の指導の下、防災訓練を実施した。
- ▶事故防止に向けて、研修等を通じて職員の意識改革・介護力向上を図った。

（ ）前年度実績

	若狭ハイツ	若狭東ハイツ
気づき・ヒヤはっと	110件（97件）	61件（57件）
事故	15件（9件）	5件（7件）
苦情	1件（2件）	0件（0件）

○改革プロジェクト活動の展開

- ▶風土改革・意識改革に向けての改善活動を展開した。

※詳細は別紙の通り

- 社会福祉法人 若狭福社会 施設概要
- 社会福祉法人 若狭福社会 人員表
- 社会福祉法人 若狭福社会 職員年齢構成表
- 社会福祉法人 若狭福社会 組織図
- 令和5年度 年間行事实績、定例会議・委員会、職員研修実績

□事業運営（施設サービス）

◆介護福祉施設

- 特別養護老人ホーム若狭ハイツ（定員 50人）
- 地域密着型介護老人福祉施設 若狭東ハイツ（定員 20人）

- ▶次の基本方針に基づき、介護老人福祉施設の使命を認識し、公平・公正な事業運営に取り組んだ。
 - ◇きれいで明るく、リスクの少ない満足度の高い施設づくり
 - ◇地域との交流の中で相互に相談・協力できる施設づくり
 - ◇入居者一人ひとりのニーズに対応し、また表現できない思いについても、感じて応えられる専門職としての能力の研鑽
 - ◇利用者最優先介護の実践
 - ◇家庭的な雰囲気と情動的な処遇
- ▶利用者が、ゆったりとした日常生活が営めるよう、介護支援専門員が中心となり職員によるケアカンファレンスを計画的に行い、介護の課題の把握を行い、適切な処遇方針を策定すると共に、介護サービスの提供を行ってきた。
- ▶利用者の疾病の予防や早期発見に努め、適切な処置対応が行えるよう、嘱託医師と看護職員・介護職員が連携し健康管理に努めた。
- ▶食事は、利用者の最大の楽しみであり、管理栄養士を中心に職員や委託業者と献立の検討を行い、嗜好に合わせた家庭的で心のこもった食事の提供を行った。
- ▶毎月の定例行事として、誕生会・音楽療法・法話等を行い、生活に変化をつけ、また利用者にとストレスが溜まらないよう施設内の活動に留まらず、外出等屋外での活動も実施してきた。
- ▶情報の共有を基にした介護、並びに一人ひとりのニーズに応えた介護の徹底を図った。
- ▶常に危機管理意識を持ち、安全な環境づくりに取り組んだ。
- ▶看取り介護に4名取り組んだ。

《若狭ハイツ》 () 前年度実績

利用日数（年合計）	18,004日	(17,822日)	+182日
利用率（年平均）	98.4%	(97.7%)	+0.7%

《若狭東ハイツ》 () 前年度実績

利用日数（年合計）	6,965日	(7,043日)	▲78日
利用率（年平均）	95.4%	(96.2%)	▲0.8%

※詳細は別紙の通り

- 令和5年度 介護保険収入実績表「若狭ハイツ」
- 令和5年度 介護保険収入実績表「若狭東ハイツ」

◆短期入所生活介護

■若狭ハイツ（定員 6人）

■若狭東ハイツ（定員 6人）

- ▶利用者が、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことが出来るよう、入浴・排泄・食事等の日常生活上のお世話および機能訓練を行うことにより、利用者の心身の機能の維持を図るとともに、利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図ることを目的に、一定期間サービスの提供を行ってきた。
- ▶コロナ感染症のため、若狭ハイツでは1～2月に、若狭東ハイツでは2～3月に利用を制限した。

《若狭ハイツ》		（ ）前年度実績	
利用日数（年合計）	1,993日	（1,908日）	+85日
利用率（年平均）	91.0%	（87.1%）	+3.9%

《若狭東ハイツ》		（ ）前年度実績	
利用日数（年合計）	1,977日	（2,021日）	▲44日
利用率（年平均）	90.3%	（92.3%）	▲2.0%

※詳細は別紙の通り

○令和5年度 介護保険収入実績表（ショートステイ）「若狭ハイツ」

○令和5年度 介護保険収入実績表（ショートステイ）「若狭東ハイツ」

◆通所介護

■若狭ハイツ デイサービスセンター

○現行サービス（定員 25名）

○介護予防・日常生活支援事業（定員 8名）

- ▶利用者一人ひとりが、その人らしい生活・人生を送れるように要介護度を維持改善していくことを基本とし、家族の心身の負担を軽減しながら、『地域で安心して暮らしていただくための場』・『元気の出る場』・『癒しの場』・『楽しみの場』としてのサービス提供を行い、「また次も来たいと言ってもらえる、来るのを楽しみにしてもらえる場」づくりに努めた。
- ▶個人の特性を生かしたクラブ活動を実施した。
- ▶訓練計画に基づいた個別機能訓練を実施した。
- ▶食の喜びを感じてもらえる年間行事食を提供した。
- ▶元コミセンターで喫茶や催し物などのイベントを実施した。

		（ ）前年度実績	
利用者数	562人	（554人）	+8日
利用日数	256日	（235日）	+21日
利用回数（延べ）	4,047日	（3,852日）	+195日
平均利用者数（1日当たり）	15.8人	（16.4人）	▲0.6人

※詳細は別紙の通り

○令和5年度 若狭ハイツデイサービスセンター利用状況

□事業運営（居宅サービス）

◆居宅介護支援事業

■若狭ハイツ居宅介護支援事業所

- ▶介護保険の基本理念に基づき、利用者の尊厳を維持し、利用者が家族と共に住み慣れた地域で生活し続けられるように各関係機関等との連携強化を図り、支援活動を行った。
- ▶他事業所との連携を密にし、信頼関係構築に努めた。
- ▶情報を的確に取り入れ、利用者発信することに努めた。
- ▶自立支援を念頭に、医療・保険・福祉関係機関との連携を図り、マネジメントの向上に努めた。
- ▶令和5年9月から1名増員し、体質強化を図った。

() 前年度実績

予防プラン作成者（延べ）	95人/年	(88人/年)
介護プラン作成者（延べ）	825人/年	(812人/年)
認定調査件数（延べ）	20件/年	(7件/年)

※詳細は別紙の通り

○居宅介護支援事業所事業状況報告書（令和5年度）

◆在宅介護支援事業

■若狭ハイツ元気コミュニティーセンター

- ▶利用者の立場に立った介護予防事業を実施した。
- ▶地域の高齢者や障害者の方々が住み慣れた地域で、安心して生活ができるようふれあいサロンを実施した。
- ▶虚弱な高齢者の機能低下を予防するフレイル予防事業に取り組んだ。
- ▶ふれあいサロンリーダー研修会で若狭高校国際研究科の生徒によるワークショップを開催した。また、口名田地区の中高生とよさこいによる交流を行った。

◇ふれあいサロン（地域活動）

◇地域活動リーダー育成事業

◇家族介護者交流事業

() 前年度実績

ふれあいサロンリーダー研修	9回/年 参加者278名	(6回/年) (参加者264名)
運動サポーター・サポートナース研修	4回/年 参加者64名	(3回/年) (参加者38名)
家族介護者交流事業	5回/年 参加者75名	(5回/年) (参加者106名)
ふれあいサロン実施地区	87地区	(86地区)
ふれあいサロン実施回数	735回	(684回)
ふれあいサロン参加人数（延べ）	7,157人	(6,827人)

※詳細は別紙の通り

○令和5年度 ふれあいサロンリーダー研修実施報告書

○令和5年度 ふれあいサロン運動サポーター・サポートナース研修実施報告書

○令和5年度 家族介護者交流会報告書

○ふれあいサロン地区別開催状況